

この講座の5つの名物



国際医療福祉大学大学院教教授・元朝日新聞論説委員
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
志の縁結び係&小間使い

ゆき さん

★★名物・その1★★

事前に資料をお送りします(*^—^*)

☆ゲスト講師にまつわるエピソードや、
カラーの配布資料を毎回、
「事前に」メールで送ります。
すでに単位をとってしまっても履修登録できない

「モグリ」の方にもお送りします(^_-)-☆

☆添付可能な、しばしば開くメルアドを
yuki@spa.nifty.comまで、お知らせください。
外部聴講の方のメルアドは、
乃木坂事務局が一覧表をくださるのですが、
院生さんは、自己申告してくださいね(^_-)-☆

★★名物・その2★★

☆レポートは、「義務」ではありません。

「権利」です(*^ー^*)

毎回、書いた方は、シリーズが終わったときには、文章力が、思いがけないほどupしています。文章力を磨くためにも、毎週のレポートはおすすめです。ご希望でしたら「添削」もいたします。

「ゲストに厳しいことを書いたので転送しないで」
「内輪の話を書いたので当選してもHPにアップしないで」

という方は、そう書き添えくださいね。

■レポートは、ご自身の記憶のために A4で1枚ていどにまとめて、yuki@spa.nifty.com宛、その週の土曜の深夜をメドにお送りください。

「ゲストへの礼状」「ゆきさんへの手紙」といった肩のこらないもので結構です、というか、歓迎です。添付と「本文貼り付け」と両方で。やり方がわからない方はお尋ねください。

■仕事がたてこんで、まとまったものが書けなかったら、数行の感想でもかまいません。

■subjectの欄に、レポート・授業の日付・お名前・職種を書いてください。こうすると、私のパソコンの「レポート」というフォルダに自動的に吸い込まれ、行方不明になったりしないので安全です o(^o) (^o) (^o)

毎週レポートを書く「ごりやく」は？

書かなければ、何もわからぬから、書くのである
(文章の達人、小林秀雄『文学と自分』)

話したり読んだり聞いたりするのと違って

- ①情報を正確に記憶し、伝えられる
- ②考えることを促す、思索を深める効用がある
- ③理解度を点検できる

考えて書くのではなく、まず、1行書いて、考える
コツは、書いて、あとで直すこと(^_-)-☆

ゲストの先生からお返事が届き、
交流が始まることも(^_-)-☆

むずかしいことをやさしく

やさしいことをふかく

ふかいことをゆかいに

ゆかいなことをまじめに

(井上ひさしさんの言葉です)

★★名物・その3★★

「当選作」には私が関係した本の中の
お好みのものを贈呈させていただきます(*^ー^*)



★名物・その4★

放課後も“宝の山”...居酒屋「晴れたり曇ったり」で



